

市報

とす

今号の内容

CONTENTS

介護保険・高齢者要望等実態調査結果……2



新年度予算がスタート……6

障害児通園施設が落成……8

牟田新市長就任のあいさつ……11

三種混合予防接種……13

小作料の標準額を改訂……14

民生委員・児童委員を委嘱……16



牟田秀敏市長が初登庁

2月21日に行われた市長選挙で初当選した牟田秀敏市長は3月15日、初登庁しました。市職員らが拍手で出迎える中、女性職員から花束を贈られ、にっこり。就任式では職員を前に「小さな役所で大きな仕事をモットーに、自信と責任をもって難局を乗り切ろう」とあいさつしました。

4

平成11年 No. 875

1日号

特集

介護保険事業計画に生かします

『高齢者要望等実態調査』から

日本は現在、世界にも例をみない高齢化社会を迎えようとしています。近い将来には人口の四人に一人が六十五歳以上の高齢者という状況が予測され、高齢者の介護は社会全体にとって大きな課題となっています。

こうした中、国では高齢者の介護を社会全体で支える仕組みとして昨年、介護保険制度を創設。同制度では、介護が必要な人の数やサービス内容、サービス量などを的確に把握し、制度を着実に進めるため「介護保険事業計画」を策定することが必要とされています。

鳥栖市では、三養基郡の五町（基山町、中

原町、北茂安町、三根町、上峰町）と共同で介護保険事業を進めようと今年二月、「鳥栖・三養基地区介護保険広域化推進協議会」を設置。今後は同協議会で、事業計画を策定することになっています。

事業計画の策定に先立ち、市では高齢者の現状とニーズを把握するため昨年八月から十月にかけて、「高齢者要望等実態調査」を行いました。今号では、その調査結果を報告します。詳しくは鳥栖・三養基地区介護保険広域化推進協議会（市保健センター内 ☎ 3315）へ。



調査の方法

実態調査は、昨年八月から十月にかけて市民を対象に行いました。

この結果、六十五歳以上全員と四十歳から六十四歳まで

の一部（若年者）の対象者、合わせて九千九百三十人のうち、入院中の方などを除く九千四百一人（うち六十五歳以上・八千四百三十五人、若年者九百六十七人）から回答がありました。

調査項目は、健康・生活動
作状況、保健福祉サービスな

どの利用状況と利用意向、住環境、生きがいなどです。

また、今回の調査では、高齢者の実態をより詳しく把握するため、六十五歳以上の方を①一般高齢者②健康な人、何らかの障害はあるが自立している人③在宅要援護高齢者④在宅で介護が必要な人⑤

施設入所者⑥特別養護老人ホームや老人保健施設などに入所（入院）中の人——に分けて調査しました。

特に、在宅要援護高齢者と施設入所者へは、心身の状況や保健福祉サービスの利用の意向などについて、さらに詳しく尋ねています。

【一般高齢者の調査結果から】

一般高齢者（健康または何らかの障害はあるが自立している六十五歳以上の人）からは、七千七百十三人のうち入院中などを除く七千三百四十九人から回答がありました。

高齢者世帯は増加傾向

〈高齢者世帯の状況〉高齢者の家族構成は、平成四年に行った前回の調査では一人暮らしが六千五百九十二人中、五百二十三人（七・九％）から七千三百四十九人中、七百六



詩吟の練習を行うお年寄り（真心の園）

十四人（二〇・四％）へ、高齢者夫婦のみ世帯が千八百四十人（二七・九％）から二千五百六十人（三四・八％）へ、それぞれ増加しています。（図一）

このように、高齢者の一人暮らしや高齢者夫婦のみの世帯の増加が見られます。前回の「高齢者ニーズ調査」でも増加傾向が指摘されましたが、今回の調査でも依然として増加傾向にあることが分かります。また、「健康や福祉などで困ったときの相談相手は」（複数回答可）の問いには、家族・親族と答えた人が八八・〇％と最も多く、次いで医療機関四八・三％、民生委員三二・〇％、市の担当窓口二四・四％、友人・近隣者二二・六％となっており、身内に相談する傾向がうかがえます。

「現在、生きがいを感じる」（複数回答可）では、趣味の活動と答えた人が四二・七％、働くこと四二・五％、なし二二・四％で、「今後してみたいこと」では、なしが五九・二％、趣味の活動二二・五％となっており、これらの傾向は今後も続くと思われ、社会が高齢者と

どのように向き合っていくかを考える必要がありそうです。

高齢者に多い健康への不安

〈高齢者の健康状態〉「健康状態は」の問いでは、大変健康と答えた人は七千三百四十九人中、わずかに五百十四人（七・〇％）。たいした病気も

せず普通に生活しているは四四・六％、何らかの障害はあるものの自立しているが四八・四％となっています。さらに、最近一年間に入院した人は七千三百四十九人中、九百二十六人（二二・六％）で、八人に一人が入院しています。（図二）

また、八四・二％の人にはかかりつけ医がおり、普段から健康に気をつけている人は九〇・九％と、高くなっています。「健康について知りたいこと」（複数回答可）では、がん等の予防四四・二％、望ましい食生活三四・九％、痴呆の予防三一・九％、寝たきり予防二二・七％となっています。これらのことから高齢者の健康に関する高い関心がうかがえます。

図1. 高齢者世帯の状況

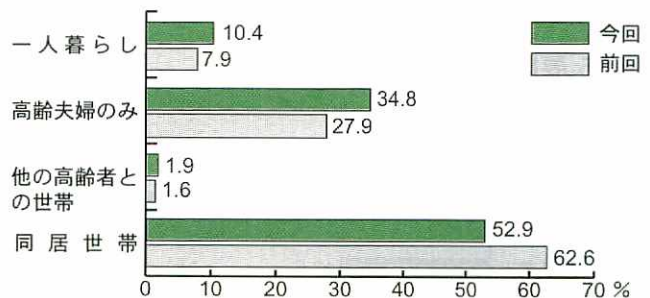


図2. 高齢者の健康状態

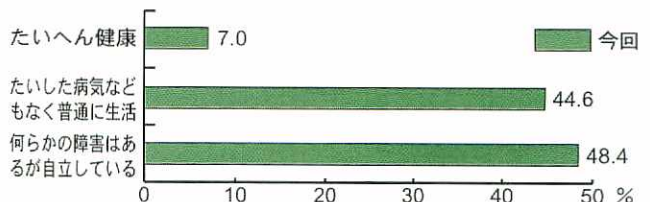
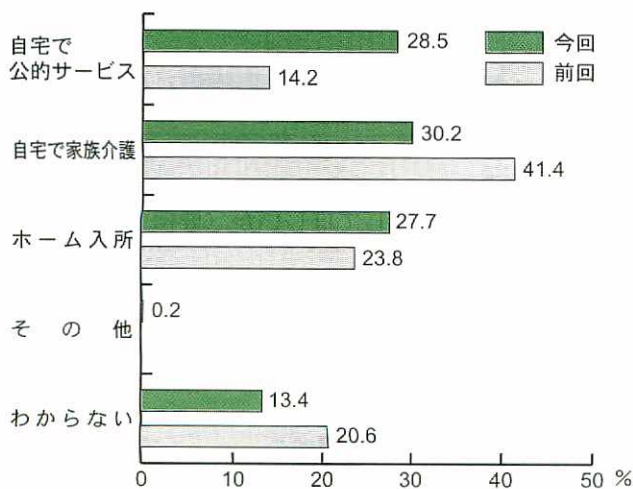


図3. 介護が必要になったら（一般高齢者）



関心が高まる公的在宅介護サービス

**在宅サービス
利用希望者が
増加**

《介護が必要になったら》平成四年に行った前回調査と比較して、「もし介護が必要になったら」の問いに、自宅で公的サービスを希望する人が六千二百四十八人中、八百九十人（一四・二％）から七千三百四十九人中、二千九十五人（二八・五％）へほぼ倍増しています。それに対し、わからないと答えた人は、二〇・六％から一三・四％へ減少しています。（図3）

「在宅三事業（ホームヘルプサービス、デイサービス、ショートステイ）を知っていますか」の問いには、前回調査では、ホームヘルプサービスを知っている人が七五・一％だったのが、今回は八八・二％でした。

また、デイサービスに関しては五二・五％から八三・三％へ、ショートステイでは五〇・三％から七一・五％へ、それぞれ著しく増加しています。（図4）

このようなことから、平成四年当時と比べて介護への関心が高まると同時に、在宅介

護サービスなどが市民に浸透し、それが自宅での公的サービス希望する人の増加につながったものと思われます。



ホームヘルプサービスも市民に広く知られるようになりました

【在宅要援護高齢者と施設入所者の調査結果から】

介助が必要な在宅要援護高齢者を対象にした調査では、対象者七百七十九人のうち六百六十九人から回答がありました。また、施設入所者は、対象者四百二十人のうち昨年八月一日から調査日までに亡くなった三人を除く四百十七人から回答がありました。

**8人に1人が
要援護高齢者**

《要援護高齢者の状況》要援護高齢者は、市内の高齢者

口八千九百十二人中、千八十六人（二二・二％）で、六十五歳以上のほぼ八人に一人が介護または介助の必要なお年寄りです。

このうち在宅の要援護高齢者は六百六十九人で、要援護高齢者の六一・六％を占め、うち常時介護が必要な寝たきり老人が百四十八人、痴呆性老人が九十三人、一部介助が必要な虚弱老人が四百二十八人となっています。また、施設入所中の要援護高齢者は四百十七人で、その内訳は特別

養護老人ホーム百七人、老人保健施設五十四人、療養型病

図5. 要援護高齢者の状況

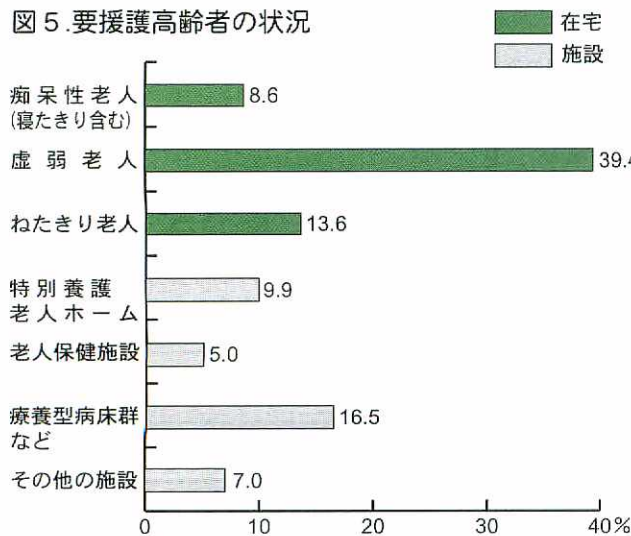


図4. 在宅三事業を知っていますか

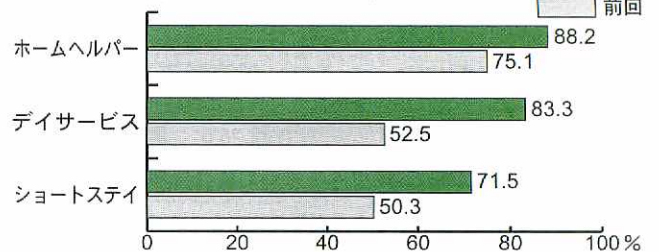
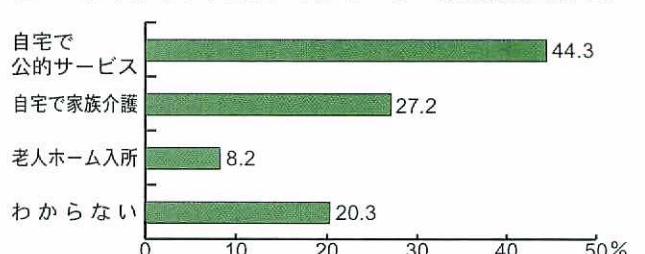


図6. どのように介護してほしいか (要援護高齢者)



介護者の高齢化も徐々に進む



食事介助を受けるお年寄り（真心の園）

床群など百七十九人、その他の施設七十七人となっており、(図5)

在宅要援護高齢者の調査から、寝たきりまたは痴呆の状態の人二百四十一人のうち、三年以上の長期にわたっている人が百四十五人(六〇・二%)にもほり、介護が長期化していることがうかがえます。

また、「どのように介護してほしいか」の問いでは、自宅で公的介護サービスを受けたいと答えた人が六百六十九人中、二百九十六人(四四・三%)、自宅で家族の介護中心が百八十二人(二七・

二%)、施設入所等を希望が五十五人(八・二%)で、一般高齢者の調査結果と比較すると、住み慣れた住居での介護を希望している人の割合が多いことが分かります。(図6)

介護者の4割が高齢者

「介護者の健康状態」は、家族だけで介護している六百十九人のうち、健康が三百三十八人(五四・六%)、疲労している百四人(二六・八%)、体調を崩している三十人(四・八%)、病気療養中百三十人(二一・〇%)で、介護者の半数近くが何らかの支障を訴え、家族による介護は、介護者自身にも大きな負担がかかっています。

また、要援護者との間柄では、息子の嫁が六百六十九人中、二百二十五人(三三・六%)、配偶者二百十六人(二三・三%)、娘百二十一人(一八・一%)、息子三十四人(五・一%)となり、ホームヘルパーは二十三人(三・四%)と低く、家族の介護が中心になっていることが分かります。(図8)

さらに、「介護の生活への影響は」(複数回答可)では、特になしが四八・九%に対し、自分の時間が持てない三七・〇%、外出や買い物ができない一六・五%などで、介護者のうちほぼ半数が日常生活にさまざまな支障をきたしていることがうかがえます。

図7. 介護者の年齢

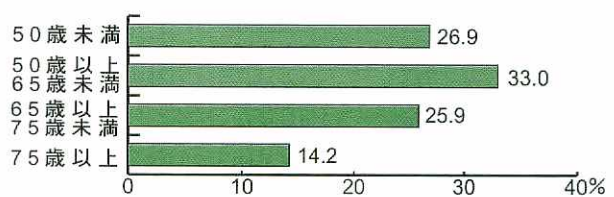
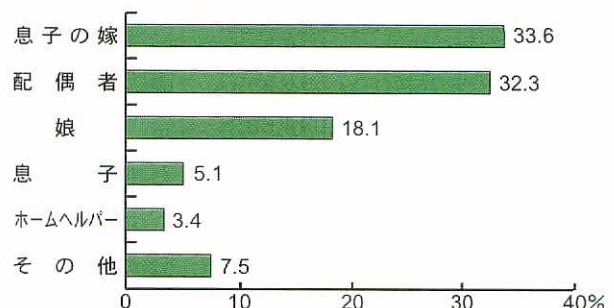


図8. 介護者と在宅要援護高齢者の間柄



【若年者の調査結果から】

若年者(四十~六十四歳)の調査では、対象者千十八人を無作為に抽出、入院中などを除く九百六十七人から回答がありました。

4割が自宅での公的サービスを望む

《若年者の意向》「仮にあなたの親に介護が必要になった場合どのようにしたいか」では、自宅で公的サービスを利用希望が三百七十二人(三八・四%)、自宅で家族中心

の介護百四十三人(一四・八%)、老人ホームなどへの入所百七十六人(一八・二%)、その他五人(〇・五%)、わからない百六十六人(一七・一%)となっており、高齢者一般調査と比較すると、自宅で公的サービスを希望している人の割合が高いことが分かります。

鳥栖・三養基地区介護保険広域化推進協議会では、この調査で得られた市民の意向をさらに分析して、今後策定する介護保険事業計画に反映させたいと考えています。



173億円の新年度予算スタート

四月は入学式や入社式など、将来を担う若者たちが希望を胸に羽ばたく季節。市では二十一世紀を目前に控え、「うるおいと活力あふれ未来にはばたく交流都市」を基本理念に、魅力あるまちづくりを指して平成十一年度の新予算がスタートします。

一般会計予算の総額は百七十三億二百八十二万三千円で、前年度当初予算に比べ一・五%の減となっています。今号では、この新年度予算のあらましをご紹介します。

わが国の経済は、金融機関の経営に対する信頼の低下、雇用不安などが重なり、家計消費や企業などの設備投資、住宅投資といった最終需要が減少するなど、極めて厳しい状況にあります。

このような中、財政の健全性の確保に留意し、景気回復への取り組みを行うとともに、高齢化社会に向けた総合的な地域福祉施策や生活関連社会資本の整備などの地域の課題に積極的に取り組み、住

民福祉の向上などに努めることが求められています。

本市の財政状況は、歳入面では税制改正による恒久的な減税に伴う地方税減収額の一部を補てんする「地方特例交付金」の新設などがなされたものの、長引く景気低迷により市税の伸びは期待できない状況です。

一方、歳出面では公債費などの義務的経費の増加、鳥栖北部丘陵新都市開発事業をはじめ各種大型事業の継続的推

進、公共下水道などの生活環境の整備促進への対応などにより、極めて厳しいものとなっています。

このような状況の中、新年度の予算は山下前市長の退任により、骨格的な予算として編成されています。

したがって、人件費や公債費などの義務的経費は年間を通して計上し、物件費や維持補修費などは前年と同額を基本に計上しています。また、投資的経費のうち、新規事業は新市長のもとで編成することとし、前年度に引き続き事業と市民生活に密着した生活関連事業については、当面必要な額を計上しています。

【総務】

複雑多様化する行政需要に的確に対応し、市民サービスの向上を図ることが重要な課

題であることから、行政改革大綱に基づき、事務処理の簡素・効率化を図るため、昨年度に財務会計オンラインシステムを導入しましたが、今年度は決算管理システムの稼働に向けたシステム開発に取り組みます。

【民生】

在宅老人福祉対策では、老人保健福祉計画に基づきホームヘルプサービス、デイサービス、日常生活支援など、各種事業の一層の充実を図ります。

平成十二年から施行される介護保険では、鳥栖・三養基地区介護保険広域化推進協議会が設置され、広域的に取り組みます。

児童福祉対策では、社会福祉法人めぐみ園の改築が六月に完成予定のため、社会福祉

国民健康保険	3,726,098
老人保健	6,152,907
下水道	3,685,235
農業集落排水	550,445
鳥栖駅東土地区画整理	295,138

収益的収支	収入	1,348,232
	支出	1,272,424
資本的収支	収入	1,044,682
	支出	1,464,966

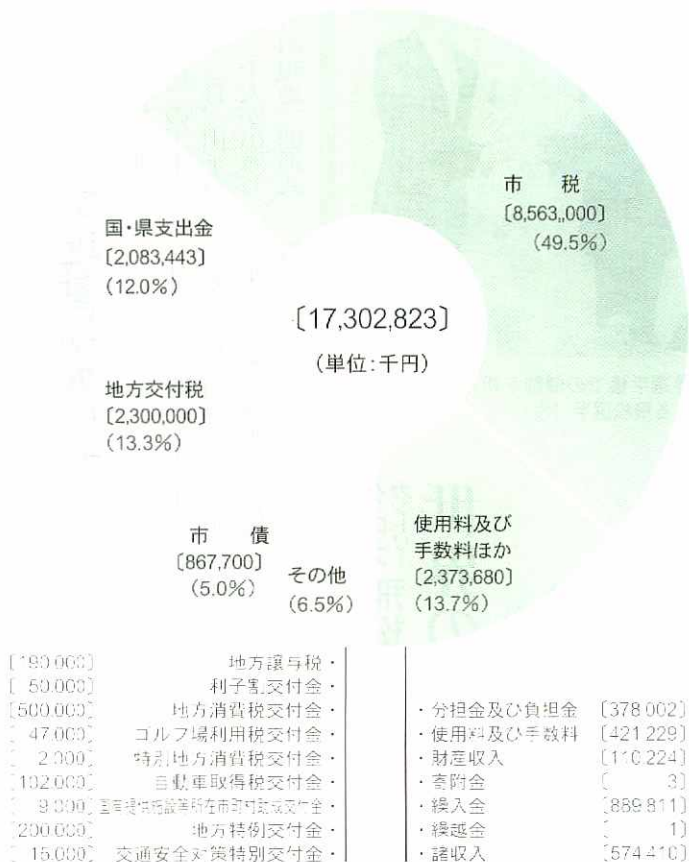
歳出 ● 予算と主な事業 (単位：千円)

合計 [17,302,823]

議会費 [324,940]	
総務費 [2,129,956]	○ A 推進事業 [40,000] 市地域振興財団運営委託料 [149,601] 鳥栖地区電算センター組合負担金 [113,544] 選挙執行経費 [18,017]
民生費 [3,488,594]	社会福祉法人施設整備費補助 [34,323] 在宅老人福祉対策費 [298,378] 福祉タクシー料金助成 [4,150] 敬老記念品 [1,600] 豊かな長寿社会づくり推進事業 [11,432] 地域福祉基金活用事業 [2,500] 介護保険準備費 [17,406] 特別保育事業 [51,724] 生活保護費 [578,600] 乳幼児医療費助成 [83,500]
衛生費 [1,700,738]	母子保健事業 [18,887] 保健事業 [52,354] 資源拠点回収・不燃物分別収集事業 [3,000] 水きりネット・指定袋等 [40,571] 資源回収奨励補助金 [12,000] 農芥処理対策費 [371,902] 合併処理浄化槽設置整備事業補助金 [28,038]
労働費 [136,181]	勤労福祉会館補助金 [38,762]
農林水産業費 [537,016]	さが転作営農確立対策事業補助金 [9,550] 滞在型農園施設運営委託料 [44,641] 老朽農業用水路改修事業 [10,000] 広域基幹林道九千部山横断線 [3,185] 神辺線整備事業 [5,000]
商工費 [464,333]	商店街振興補助金 [1,600] 物流ネットワークシティー事業化推進協議会負担金 [3,000] 地域商業活性化緊急対策支援事業 [1,710] 市小口資金融資預託金 [300,000] 観光地整備委託料 [3,162]
土木費 [2,645,927]	国道3号拡幅用地費 [96,000] 道路維持費 [118,207] 緊急地方道路整備事業 [50,000] 地方道路改良事業 [47,000] 準用河川改修事業 [44,400] 河川・排水路整備事業 [48,900] 特定優良賃貸住宅家賃減額補助金 [1,696] 公園事業 [51,000] 街路事業 [108,464] 緑化推進事業 [8,970] 定住交流センター管理運営委託料 [113,728] 鳥栖駅前駐車場管理運営費 [4,834]
消防費 [582,652]	鳥栖・三養基地区消防事務組合負担金 [504,234]
教育費 [2,196,837]	小学校施設営繕工事 [4,350] 鳥栖中学校大規模改修事業 [158,000] 適応指導教室運営費 [3,687] 語学指導外国人招致事業 [14,925] 留守家庭児童等少年教室事業(なかよし会) [16,546] 埋蔵文化財保護調査 [66,664] 若葉地区コミュニティ施設建設 [468,201] 体育施設管理運営委託料 [105,013]
災害復旧費 [29]	
公債費 [3,045,319]	
諸支出金 [301]	
予備費 [50,000]	

歳入

自主財源63.2%
依存財源36.8%



「農林」

営営ほ場整備事業や老朽農業用水路改修事業、用排水施設整備事業で農業生産基盤整備に取り組みます。

ごみ焼却施設は前年度に引き続き、現有施設の延命化と効率的運営を図ります。

緊急地方道路整備事業や地方道路改良事業、河川改修事業、公園事業、街路事業など、今日まで補助事業で取り組んできた事業は、今後も引き続き

「土木」

緊急地方道路整備事業や地方道路改良事業、河川改修事業、公園事業、街路事業など、今日まで補助事業で取り組んできた事業は、今後も引き続き

緊急地方道路整備事業や地方道路改良事業、河川改修事業、公園事業、街路事業など、今日まで補助事業で取り組んできた事業は、今後も引き続き

緊急地方道路整備事業や地方道路改良事業、河川改修事業、公園事業、街路事業など、今日まで補助事業で取り組んできた事業は、今後も引き続き

緊急地方道路整備事業や地方道路改良事業、河川改修事業、公園事業、街路事業など、今日まで補助事業で取り組んできた事業は、今後も引き続き

緊急地方道路整備事業や地方道路改良事業、河川改修事業、公園事業、街路事業など、今日まで補助事業で取り組んできた事業は、今後も引き続き

緊急地方道路整備事業や地方道路改良事業、河川改修事業、公園事業、街路事業など、今日まで補助事業で取り組んできた事業は、今後も引き続き

緊急地方道路整備事業や地方道路改良事業、河川改修事業、公園事業、街路事業など、今日まで補助事業で取り組んできた事業は、今後も引き続き

緊急地方道路整備事業や地方道路改良事業、河川改修事業、公園事業、街路事業など、今日まで補助事業で取り組んできた事業は、今後も引き続き

緊急地方道路整備事業や地方道路改良事業、河川改修事業、公園事業、街路事業など、今日まで補助事業で取り組んできた事業は、今後も引き続き

緊急地方道路整備事業や地方道路改良事業、河川改修事業、公園事業、街路事業など、今日まで補助事業で取り組んできた事業は、今後も引き続き

緊急地方道路整備事業や地方道路改良事業、河川改修事業、公園事業、街路事業など、今日まで補助事業で取り組んできた事業は、今後も引き続き

緊急地方道路整備事業や地方道路改良事業、河川改修事業、公園事業、街路事業など、今日まで補助事業で取り組んできた事業は、今後も引き続き

「衛生」

市民の健康に関する意識の高まり、多様化する保健・医療・福祉ニーズへ対応するため、基本健康診査や各種がん検診、健康相談のほか、妊婦・乳幼児の健康診査、育児相談、新生児などへの訪問指導など、母子保健事業に取り組みます。

「商工」

消費の低迷に加え金融情勢の深刻化により中小企業の資金需要が増加の一途をたどっている現状から、中小企業者の小口資金需要に対応するため、前年度に引き続き三億円を金融機関に預託し、中小企業の経営安定化を図ります。

「教育」

小・中学校の施設については年次計画で順次整備を図っていますが、本年度は鳥栖中学校の大規模改造と基里小学校教室種の耐震診断を行います。また、若葉地区コミュニティ施設の建設は、平成二十三年三月完成を目標に取り組んでいます。

「消防」

引き続き市民生活の安全に努めます。



本町に完成した、県内市町村では初の障害児通園専用施設

障害児通園施設が本町に完成 専用設備で早期療育を支援

市障害児通園施設の落成式が三月四日、山下乡長をはじめ関係者約六十人が出席して、本町の同施設で行われました。県内市町村では初の障害児通園事業専用施設です。式典で山下乡長は「念願の施設が完成しました。今後も

施設の機能を十分に発揮し、障害児の早期療育に努めたい」とあいさつ。

障害児通園事業は、心身の発達が遅れている就学前の児童を対象に、平成五年四月から開始。現在、二歳から六歳までの児童十九人が保護者と

一緒に通園し、日常生活に適応するため服の着脱や排せつなどの訓練を受けています。これまでは社会福祉会館の一室を利用していましたが、園児専用のトイレがなく手狭なため、保護者から専用施設の建設が要望されていたもので

を通した言葉や運動などの機能回復訓練のほか、月二回は九州大学の「心理リハビリ」の専門員が、立つ、座るといった基本的な動作を指導する予定です。

新施設の定員は二十人で、

敷地面積約千七百平方m、鉄骨平屋建て床面積約三百平方m。訓練室のほかプレールームや園児用の専用トイレなどを備えています。総事業費約一億円。

鳥の里橋が開通 駅東の交通量増加に対応

平成九年度から整備を進めてきた「鳥の里橋」の工事が完了し二月二十三日、山下乡長ら関係者約二十人が出席して、本鳥栖町の現地で開通式

が行われました。

都市計画道路・飯田蔵上線に新設された同橋は、大木川をまたいで本鳥栖町と曾根崎町を結ぶ長さ十七m、幅二十

五m（うち車道十六m、四・

五m）の両側歩道）のコン

クリート橋。欄干には、市の鳥「メジロ」をモチーフにしたプレートがはめ込まれています。橋の名称「鳥の里」は、本鳥栖町の水影神社付近に「鳥の里」という集落があったことに由来する、と伝えら

れています。従来の橋は、昭和三十年に建設された幅三・七mのコンクリート橋でしたが、平成四年度から整備を進めている鳥栖駅東土地区画整理事業に伴い、架け替え工事を行っていたものです。

えた同橋の開通により、歩行者の安全が確保されるとともに、周辺住民の生活道路として、また、駅東の幹線道路として今後の利用の増加が見込まれます。橋本体の工事費約一億八千万円。



交通量増加が見込まれる鳥の里橋

クロス 飛松誠選手が世界選手権出場 世界の舞台での健闘を誓う

第二十七回世界クロスカン トリー選手権大会に出場する鳥栖工業高校の飛松誠選手（18歳、神辺町）の壮行会が三月十二日、両親や市陸上競技協会、同校OBなど関係者

約五十人が出席して鳥栖バレスで行われました。飛松選手は、世界選手権代表選考会を兼ねた二月二十一日の千葉県際クロスカン トリー大会と三月七日の福岡国際クロスカン

トリー大会の両大会で二位に入賞。実績が認められ、三月二十七、二十八の両日、イギリスのベルファストで開かれる世界選手権の日本代表に選ばれました。

世界選手権終了後、飛松選手は帝京大学に進学。喜多秀喜監督のもとで箱根駅伝出場を目指します。



世界選手権での健闘を折り、花束を贈られる飛松選手（左）

「おいしいわ、たくわえくん」 基里公民館で備蓄米の試食会

政府備蓄米の試食会が三月五日、基里公民館で開かれ、基里地区婦人会や子どもクラブなどの会員約四十人が参加しました。備蓄米の理解を深め、備蓄米をもっと食べて

もらおうと、佐賀県米穀協会が企画したものです。調理には「たくわえくん」と名付けられた備蓄米を含む指定標準米を使用。参加者は栄養士の中村原子さんの指導で、まぐろ寿司、卵とカニ

のあんかけチャーハン、芋ぼた餅など六種類の米料理と四種類の惣菜を作り、試食しました。

「備蓄米とは思えない」「炊き方や献立によっておいしく食べられる」などと「たくわえくん」は好評でしたが、「値段がもっと安くならないでしょうか」と辛口の感想もありました。

また、調理に先立ち佐賀食

糧事務所鳥栖支所の職員が、米を備蓄する制度ができた経緯や備蓄量、品質などについて説明。「新米と品質がほとんど変わらない備蓄米をもっと食べてほしい」と呼び掛けました。



備蓄米「たくわえくん」を使った料理を試食する基里地区婦人会のみなさん

万一の火災・急病に備え

鳥栖・三養基地区消防署員が高齢者宅170軒を点検

「消火器はありますか」などと、お年寄りに聞き取り調査をする消防署員

鳥栖・三養基地区消防事務組合は、春の全国火災予防運動の一つとして三月一日から八日まで、「災害弱者緊急通報シス

テム」を利用する同組合管内の七十五歳以上の高齢者宅を訪問、同システムや火のまわりの点検をしました。同組合によると平成九年中に全国で発生した建物火災による死者は約九百人で六十五

歳以上の高齢者が大半。今回の点検は、高齢で行動能力が低下したり病氣などが重なることからの避難が困難となることから、身体の状態や身の回りの火の元を調べて、細かな対応を図ろうと行ったもの

です。消防署員は六、十班に分かれて、二人一組で市内の約百七十軒のお年寄り家庭を訪問。民生委員の立ち合いで、システムの発信器のほかガス器具や風呂釜、ストーブなど、火のまわりの器具の状態を一つひとつ点検、「消火器はありますか」「ストーブを消して

灯油を入れてありますか」などと聞き取り調査も行いました。井上シゲノさん（80歳、加藤田町）は「一人だと心細いので、来てもらって安心しました。年に一度は点検してもらえるといいですね」と話していました。

山下前市長、爽やかに退任

水利権確保やなど、市の躍進に尽力 北部丘陵開発

山下英雄前市長は三月十二日、三期十二年の任期を終え退任。市職員ら約二百五十人が拍手で見送る中、女性職員から花束を贈られ、爽やかな笑顔で市役所を後にしまし

た。市役所大会議室で行われた退任式で山下前市長は、「市長に就任したのが昨日のことのように思われる。初代から三代市長まで、任期中で退

任された。私は歴代市長の無念の思いを胸にしながら、引き続きいざ懸案を私の在任中に解決したいと、これまでがんばってきました」としみじみ振り返り、「鳥栖市は企業も多く若いまちで、すばらしい若者も育っている。これから自分の仕事に自信を持って市民のためにがんばってください」と、職員を激励しまし

た。山下前市長は昭和六十二年三月、第四代鳥栖市長に就任。在任中は、水利権の確保や農業基盤整備をはじめ、久留米・鳥栖テクノポリスの指定を受けた北部丘陵新都市開発事業や鳥栖駅周辺市街地整備事業などを推進しました。また、学校や保育園、老人福祉施設、サンメッセ鳥栖、鳥栖

スタジアムなどの建設に取り組むほか、スポーツや文化の振興にも力を注ぐなど、十二年間にわたって市の発展に尽力されました。



市職員らに見送られ、にこやかに市役所を後にする山下前市長

バドミントン・女子単 全日本チャンピオンに市民栄誉賞

田中美保さん(22歳、大阪府大東市)

「このような賞をいただいで、びっくりしています。これからもいろいろな試合がありますが、一戦一戦挑戦者のつもりでがんばります」

昨年十一月に東京で開かれた全日本総合バドミントン選手権の女子シングルスで優勝。学生時代にもさまざまな国際大会や全国大会で活躍を



した功績で、このほど市民栄誉賞を受賞しました。

一昨年の全日本選手権で準優勝し、昨年は優勝を目標に練習を重ねてきました。「勝たなければという気持ちを切り替え、今の自分がどこまでやれるか挑戦してみよう」と臨んだ大会で

は、一回戦から決勝まで集中力が途切れず、見事に初優勝を飾りました。

あんひと こんひと

は、大阪の寮で生活し、同僚九人と平日は五、六時間の練習をこなしています。バドミントンはスピード、かけひきなど見た目以上に激しいスポーツ。「最後は体力と気力の勝負です」

来年はシドニー五輪の年。間もなく選手権大会が始まります。女子シングルスは五輪出場枠は二、三人で、四月から来年三月までは出場選手を決める国内外のオープン大会がめじろ押し。

バドミントンを始めたのは九歳のとき。市内のクラブに通ううちに面白くなり、田代中・佐賀女子高時代には、全国大会で活躍。女子バドミントンの名門チーム・三洋電機に入社した今

「あと一年で海外に通用する試合ができるようにしたい。夢の五輪に近づけるようにがんばります」

中務所 三まじろ

建設部建設課庶務係

増田 義仁



庶務係では課の予算の作成や経理、道路拡張に伴い必要となる用地の買収、工事を請け負う指名業者の登録・名簿の整理を行っています。そのほかに道路・河川などの工事の入札と契約も担当。みなさんの声に耳を傾け、利用しやすい道路の整備など快適な環境づくりのために日々頑張っています。

農業

新時代

◁95▷

「環境にやさしい農業目指し、『鳥栖基山地区 廃プラスチック適正処理推進協議会』が発足」

平成九年六月、廃棄物の処理及び清掃に関する法律が一部改正され、翌年十二月から産業廃棄物管理票(マニフェスト)制度が義務づけられました。

これを受けて今年一月十九

日、農業用廃プラスチックの適正処理や生産・生活環境の保全、資源の有効活用を図るうと、鳥栖市や基山町、鳥栖基山農協などで「鳥栖基山地区廃プラスチック適正処理推進協議会」を発足。廃プラ



「農家自身が廃プラの適正処理に努めなければ」と原室長

チックの排出や処理実態の把握、適正処理の啓発などに取り組むことを決めました。

マニフェスト制度とは、産業廃棄物を出す業者(生産者)

が、最後までそれを管理するシステム。排出される廃棄物の種類などを管理票に記入し、収集運搬業者から処分業者へ管理票を渡しながら処理の流れを確認するものです。

園芸用ビニールハウスのポリエチレンフィルムなどがこれにあたり、市内で廃棄されたビニールは宮崎県の再生処理業者で再生されます。

同協議会の会長に就任した原啓次・鳥栖基山農協生産対

策室長は、「鳥栖基山地区のアスパラガスは西日本一。ダイオキシンなどから守るため、生産農家自身が適正な処理に努めていかなければ」と話します。

同農協では以前から廃プラ処理に取り組み、平成九年度には約二十九トンの園芸用廃プラを回収、県内の処理業者で処理してきました。回収には農家が1kg当たり三十円の負担をしています。



就任のごあいさつ

市長 牟田 秀敏

陽春のひざしとともに心開かれる感じがいたしますが、市民の皆様にはご健勝にてご活躍のことと存じます。

さて、過般行われました鳥栖市長選挙において、お陰をもちまして五代目市長に選出

していただき、光栄に存じますとともに、その責務の重大さを痛感いたしております。今後はこれまでの政治経験を生かし、本市の更なる躍進をめざし、「二十一世紀の住みやすいまち鳥栖」を基本理念に、市政の発展に全力を尽くして参る所存であります。

また山下英雄前市長はじめ歴代市長の思いを重く受けとめ、九州における存在感のあ

る街づくり「21ハート・オブ・九州」（九州の心臓部）を、政策・事業を進めるキーワードとして取り組んでいきたいと思っております。そして、鳥栖の動きが九州に広がる。そんな町づくりこそ将来の本市の目標にすべきと思っております。

市町村行政は裾野が広く、市民の人生に多くかかわっていくため、行政のあり方が市民の暮らしに大きく影響を及

ぼす訳であり、それだけに行政は常に市民の目線で物ごとを考えなければなりません。私は市役所を「鳥栖市民に役立つ人のいる所」との認識のもと、市長はじめ全職員がこの心を持ち、「行政こそ最大のサービス」との観点で職員意識改革にも取り組んでいきます。市民の皆様も市政に対し、顧客的立場のみならず株主の立場にあることも自覚

し、積極的に市政に参加する意識の改革も必要であります。これからは行政も議会も市民も総力をあげて取り組み、課題の解決に果敢に挑戦する時であると思っております。

私は市民の先頭に立ち、市民の幸せをめざす環境づくりに力強く全力で取り組んで参ります。市民皆様の一層のご指導、ご協力を心からお願いたします。



「大会でいい結果が出たときが一番うれしいです」

鳥栖工業高校三年の永富和真さん（17歳、小郡市）は、

高校では、スピードやペーシングを重視した練習のほか、持久力をつけるために20km以上の長距離走などをこなしています。今年になって五千m14分29秒という県内トップ

三年生になった今年は、エースとしての期待がかかりました。「個人の目標は、三千m障害と五千mでインターハイの全国大会に出場し入賞すること。チームの目標は、都大路を走ることです」と抱負を語りました。

Viva! ビバスポーツ

公認祐徳ロード大会 高校生10キロで初優勝

三月七日に鹿島市で開かれた第四十八回公認祐徳ロードレース大会・高校生10kmの部で初優勝を飾りました。

永富さんは中学時代、バスケットボール部に所属。学校に陸上部はありませんでしたが、長距離走が得意で、

同校陸上競技部の古川昌道監督は「ピッチを刻んで素直に走る長距離向きの選手です。勝負強さを身につけて、順調に伸びてほしい」と話します。

最高の29分58秒で、六位に入賞しました。

さわやかさん (72)

鳥栖インター営業所は昭和三十六年七月、桜町に設立。市内で生産されたセキスイハイムを九州一円に、また、全国各地からのダンボール原紙を市内の工場に運送しています。社員は二十人。

私は昨年四月に入社以来、納品伝票の作成やコンピュータでの入出庫管理を担当しています。

趣味はドライブと部屋の模様替え。稲佐山から見た長崎の夜景は今でも印象に残っています。洋裁も好きで、これまでスカートやベスト、パジャマ、バッグなどを作りました。

鳥栖は交通量が多く活気がありますが、エアロビや水泳のできるスポーツ施設もほしいですね。



井手運送(有)鳥栖インター営業所勤務

副島紀久子さん
(22歳、神埼町)

公金の口座振込通知書を廃止

鳥栖市では現在、公金を口座振替で支払う場合、「振込通知書」を郵送していますが、市役所財務会計の電算化と事務改善により、四月一日から廃止することになりました。

これに代えて、平成十一年度分の支払いからは、請求書ごとに通帳へ担当課名を記載します。
詳しくは市出納室（☎3593）へ。

保健

国保加入のみなさんへ

平成十一年度の「鳥栖市国民健康保険被保険者証」を三月中に各家庭に郵送しました。まだ保険証を受け取られていない人は、保健課健康保険係（☎3582）へ早めにご連絡ください。

なお、長期出張や修学などで別に保険証が必要な人は、在学証明書などの書類と平成十一年度の保険証を市民課窓

口へご持参ください。

老人医療の負担金が 変わり ます

四月一日から老人医療の一部負担金が次のとおり変わります。

外来一回につき五百円↓五百三十円
入院一日につき千円↓千二百円（ただし、市民税非課税世帯の方などは、一か月の負担上限が三万五千四百円に減額されます。該当者は健康保険係へ申請してください）
詳しくは保健課健康保険係（☎3582）へ。

スポーツ

ハイキング （軽登山・野草観察）

市では年間を通して左の表のとおりハイキングを計画しています。当日は昼食、水筒、雨具、タオル、着替え、軍手、防寒具などを持参してください。申し込みは参加料を添えて、教育委員会社会体育課（☎3522）へ。定員に

目的地（テーマ）	集合日時	集合場所	定員	参加料
市民の森周辺「野草草観察1」	4月18日（日）9:30	市民の森中央入り口駐車場	40	無料
石谷山周辺「野草草観察2」	5月9日（日）9:00	沼川河川プール前駐車場	40	無料
扇ヶ鼻（久重）「新緑・ミヤマキリシマ」	5月30日（日）6:30	市役所玄関前	50	4,000
国見岳（雲仙）「紅葉」	11月7日（日）6:30	市役所玄関前	50	4,000
由布岳「冬山・樹氷」	1月23日（日）7:00	市役所玄関前	50	4,000

Ms（ミス）フレッシユ スポーツ教室

教育委員会では、女性が手軽にできるミスフレッシユスポーツ教室を開きます。リズムダンスやソフトバレーボールなどの軽スポーツです。運動不足解消などに、ご参加ください。詳しくは同委員会社会体育課（☎3522）へ。
とき 四月九日（金）から来年三月までの毎週金曜日午前十時～正午
ところ 市勤労者総合福祉センター（曾根崎町）
参加料 無料
持ってくるもの 運動ができる服装、上靴など
申し込み 当日会場で申し込んでください

若さはつらつ教室

教育委員会では、だれでも手軽にできる軽スポーツを通して体力の保持・増進を図るため、市内六地区公民館で毎月二回「若さはつらつ教室」を開きます。

内容は軽スポーツのほか、レクリエーション、健康講話、リズムダンスなど。申し込みは不要で、当日会場においてください。
詳しくは同委員会社会体育

4月11日（日）は県知事・ 県議会議員選挙の投票日

佐賀県知事・佐賀県議会議員選挙の投票は、四月十一日（日）午前七時から午後八時までです。
開票は同日午後九時半から市民体育館で行います。
選挙についての問い合わせは、鳥栖市選挙管理委員会事務局（☎3507）へ。

明るい選挙フェリス入選作品

一票が街を良くする暮らしを変える

権藤英子（本町）

課（☎3522）へ。

会場	と き
鳥栖北公民館	毎月第2・4月曜日13:30~15:00
麓公民館	" 火曜日13:30~15:00
基里公民館	毎月第1・3水曜日13:30~15:00
鳥栖公民館	" 木曜日10:00~11:30
旭公民館	毎月第2・4木曜日10:00~11:30
田代公民館	" 金曜日13:30~15:00

ご存じですか

この祭典で上位入賞した選手は、県代表として十月十六日から山形市で行われる第十二回全国スポーツレクリエーション祭へ出場できます。
参加希望者とチームの代表者は、申込書に必要事項を記入のうえ、参加料（一人五百円）を添えて四月十九日までに同委員会社会体育課へ申し込んでください。

県スポレク祭参加者募集

五月二十三日（日）、唐津市・東松浦郡で開かれる第三回佐賀県さわやかスポーツ・レクリエーション祭の参加者を募集します。種目など詳しく

4月1日から改正男女 雇用機会均等法が施行

男女の均等な雇用の機会と



山崎豊さん直美さんの長女・長男

みゆ 水優ちゃん・とうま 斗真くん
（5歳・9か月、原町）

●パパからひと言
笑顔のすてきな女の子
正義の味方の男の子になれ

待遇を確保するため、四月一日から「改正男女雇用機会均等法」が施行されます。

この法律では、募集・採用、配置・昇進・教育訓練、福利厚生、定年・退職・解雇の各分野で、女性を排除したり女性を不利に扱うことはもちろん、女性のみを取り扱いや女性を優遇する取り扱いも、原則として禁止されます。

詳しくは労働省佐賀女性少年室（☎0952②7150）へ。

儀徳町運動広場の受付場所が変わります

儀徳町運動広場の使用許可などの受け付けは、四月一日から、教育委員会で直接行います。詳しくは同委員会社会体育課（☎3522）へ。

募集

市営住宅補充入居者

市営住宅補充入居者を次のとおり募集します。

希望する団地に空き家があればすぐ入居できますが、ない場合は入居予備者として登録します。予備者の有効入居期限は今年九月三十日です。なお、入居には次の要件を

はじめ、一定の条件を満たしていることが必要です。

入居資格●市内に居住または勤務し、市町村民税などを完納している方で①現在住宅に困っている方②所定の収入基準に適合する方③現に同居または同居しようとする親族のある方④など

申し込み●入居希望者は、四月一日から六月三十日までに建設課建築係（☎3599）へ。申込用紙は同係で配布しています。ただし、申込期限が過ぎても空き家がある場合は随時、申し込みを受け付けます。

鳥栖市文化事業協会特別会員

鳥栖市文化事業協会では、平成十一年度の特別会員を募集します。年会費は一万円で、特別会員にはチケットの割引や機関誌の無料配布などの特典があります。

なお、同協会では今年、「ハウンドドッグコンサート」のほか「ポーランド国立放送交響楽団演奏会」「ライナー・ホーネット&小川典子デユオリサイタル」「武士の旗公演」などを予定しています。特別会員の申し込み方法など詳しくは、同協会（市民文化会館内☎3645）へ。

ふれあい農園会員

市農林課では、土に親しみ作物を育てる喜びを体験してもらうため、河内町に開設している「ふれあい農園」の会員を募集します。

場所●河内町樋渡（とりこえ荘から西へ七百m下る）
区画●個人1区画十五平方mから
貸出期間●来年三月末まで（更新可）
使用料●一区画五千円から

申し込み●農林課農政係（☎3563）へ

ヤングネットワーク・ウイング九州、99団員

県では「ヤングネットワーカー・ウイング九州'99」の団員を募集します。詳しくは県児童青少年課（☎0952②7055）へ。

とき●八月二十一日から同二十九日まで
訪問先●大韓民国（ソウル）、中華人民共和国（天津、北京）

定員●班長1三十歳以上三十五歳未満の男女各一人▽一般団員1二十歳以上三十歳未満の男女各十四人

自然公園大会参加者

環境庁と県では「第四十一回自然公園大会」の参加者を募集します。詳しくは県観光課（☎0952②7099）へ。

とき●七月二十八日（水）二十九日（木）の二日間
ところ●玄海国定公園一帯（鎮西町、唐津市ほか）
内容●自然教室、特産品販売、自然探勝、歴史探訪ほか
募集人員●①式典・夕べのつどい（日帰り）五百人②式典・夕べのつどい・野外活動（二泊）一百人
申し込み●五月十四日まで
に、同大会実行委員会事務局（県観光課内）へ

三種混合(百日せき・ジフテリア・破傷風) 予防接種

問い合わせ：すこやかセンター（保健センター☎3650）へ

三種混合予防接種を次のとおり実施します。

◎対象者と受け方

1期：【初回】生後6か月から7歳6か月未満の間に3～8週間隔で3回
【追加】初回接種終了後1年から1年半経過後、7歳6か月未満の間に1回

◎実施期間＝年間を通して実施

◎申し込み＝直接、下記の医療機関へお申し込みください

医療機関	所在地	電話	実施曜日	実施時間
有吉医院	宿町	☎3526	月～金曜日	14:00～16:00
石田医院	古賀町	☎2722		15:00～17:00
名取医院	儀徳町	☎8008		14:00～17:00
はらだ内科胃腸科	鎗田町	☎1515		14:30～16:30
野下医院	曾根崎町	☎2082		9:00～12:00
今村病院	轟木町	☎5550		14:00～15:00
権藤医院	田代上町	☎2978		16:00～18:00
前山医院	宿町	☎0005		12:00～13:00
宮崎医院	東町	☎2083		13:00～16:00
すがい小児科	神辺町	☎7020		15:00～17:00
武田内科	村田町	☎1011	火曜日	15:00～16:30
古賀内科医院	宿町	☎3204	火・木曜日	13:00～14:00
すぎやま内科胃腸科	神辺町	☎7785	水曜日	14:00～15:30
ひよし小児科	宿町	☎2677	月・火・水・金曜日	15:30～17:00
古賀医院	原古賀町	☎3457	火・水・木曜日	10:00～12:00
玄々堂内科	曾根崎町	☎2151	火・水・木曜日	14:00～16:00
斎藤内科医院	東町	☎2016	火・水・木曜日	14:00～15:00
高尾医院	京町	☎2328	火・水・木曜日	9:00～12:00
三輪堂医院	元町	☎2281	火・水・木曜日	14:00～18:00
むらかみ小児科	古野町	☎2450	火曜日	9:00～12:00
じゅんせんせい のこども総合クリニック	下野町	☎2333	月～金曜日 土曜日	14:00～18:00 9:00～12:00

小作料の標準額を3年ぶり改訂

農地法第二十四条の二の規定に基づき、四月以降の小作料の標準額が左表のとおり改訂されました。

水稻地帯区分と小作料の標準額 (10アール当り)

	A 地区	B 地区	C 地区	D 地区
鳥 栖	真木町、高田町、安楽寺町、今泉町の各ほ場整備地区	轟木町、元町、本鳥栖町、藤木町、古野町、ほ場整備地区を除く真木・高田・安楽寺・今泉の各町		
田 代	永吉町のほ場整備地区	永吉町、田代昌町、田代新町、田代上町、田代大官町、田代外町、田代本町、古賀町、萱方町、神辺町、柚比町、今町(各町の山間部を除く)	柚比町、神辺町、河内町(各町の山間部のほ場整備地区)	ほ場整備地区を除く各町の山間部、ほ場整備地区を除く河内町
基 里	酒井西町、酒井東町、水屋町、曾根崎町、原町、飯田町、姫方町、幡崎町の各ほ場整備地区	酒井西町、酒井東町、水屋町、曾根崎町、原町、飯田町、姫方町、幡崎町の各町(ほ場整備地区を除く)		
麓		蔵上町、養父町、原古賀町、牛原町、山浦町、平田町、宿町、立石町(各町の山間部を除く)	山浦町、養父町(各町の山間部のほ場整備地区)	ほ場整備地区を除く各町の山間部
旭	三島町、下野町、江島町、儀徳町、村田町の各ほ場整備地区	三島町、下野町、江島町、儀徳町、幸津町、西新町の各町(ほ場整備地区と山間部を除く)		各町の山間部、村田町字五反三步
金額	22,800円	20,100円	13,300円	9,900円

改訂は原則として三年ごとに行われ、貸し手代表、借り手代表、学識経験者の十五人からなる鳥栖市小作料協議会の

第12回鳥栖市長杯 小・中学生相撲大会

4月25日(日)午前9時、市民相撲場。団体戦は小学生と中学生の部で各町区2チームまで。個人戦は学年別に行い、参加人員制限なし。小学4・5・6年生の優勝者は、7月25日に東京で開かれる「わんぱく子供相撲大会」に派遣。申し込みは4月16日までに市相撲連盟・豊増(市税務課内 ☎353589)へ。

水のフォトコンテスト

県では「人と水とのふれあい」をテーマに、フォトコンテストを行います。水車や手作りイカダなど、水に親しむショットをどしどしご応募ください。応募資格は県内在住または勤務者。応募方法など詳しくは、県企画調整課水資源対策班(☎0952237033)へ。

第42回鳥栖市民大学

4月17日(土)午後3時、市立図書館。吉野ヶ里を発掘した県教育委員会の七田忠昭氏が、「吉野ヶ里を新たに語る」のテーマで講演します。入場無料。詳しくは鳥栖市民大学(本通町・鳥栖新聞内 ☎37470)へ。

フレッシュサークル エアロビクス会員募集

毎週木曜日午前10時~同11時半、市勤労者総合福祉センター。月会費2,000円。申し込みは直接会場または今村幸子(原町 ☎35482)へ。

鳥栖少年剣道クラブ 4月募集(初心者)

小学1年生から中学2年生までの男女(初心者)を募集。練習は火曜日から金曜日の午後5時15分~6時、勤労青少年ホーム多目的ホール。入会金2,000円、スポーツ保険料450円。申し込みは会場へ。

の答申を受け、三月定例農業委員会が決定しました。なお、今回の改訂は、平成十年度からの緊急生産推進対策を勘案した額となっております。
〔注意〕①標準額は田のみで、畑については定めていません。②標準額算定の主な作物は、十アール当たり水稲六八%、転作作物(大豆)三二%、それに麦とします。③小作料の額は、農地法により、標準額の上限三〇%以内、下限額は双方の話し合いで定めるものとします。不整形田、狭い田、不耕作などについては実情を勘案して調整してください。④水稻地帯区分は収量等を勘案のうえ、適用してください。収量の基準は十アール当たりA地区五百二十五kg、B地区四百九十七kg、C地区四百六十三kg、D地区四百二十六kgです。詳しくは農業委員会事務局(☎353569)へ。

寄付

2月28日
現在
(敬称略)

香典返し 市社会福祉協議会へ▽山本浩(元町、亡母フクノ)▽志藤千代子(同、亡夫固典)▽八坂一美(同、亡夫敏夫)▽栗山輝文(立石町、亡祖母チト)▽松隈留美子(同、亡夫彬)▽岩松政則(同、亡父正人)▽木下美津代(同、亡母チエ)▽城崎照隆(大正町、亡妻保子)▽木村邦夫(萱方町、亡母和子)▽岡本善吾(同、亡母タキエ)▽福水孝義(田代新町、亡母シメヨ)▽酒井英俊(佐賀市、亡母豊子)▽龍頭欣己(秋葉町、亡母津奈子)▽鳥実勝美(今町、亡義姉原トミエ)▽中富三(田代大官町、亡妻フサ)▽碓秀次(三島町、亡父勝次)▽松本美恵子(同、亡夫又雄)▽高橋盛夫(京町、亡妻晴美)▽中島寛(土井町、

亡母マサヲ)▽久保山ムツ子(宿町、亡夫六郎)▽大倉豊光(同、亡妻英子)▽三橋美年子(牛原町、亡夫國秋)▽公門万子(古賀町、亡夫方士)▽西村イツヨ(同、亡夫守)▽能塚ミドリ(原町、亡夫多津魔)▽青山銀三(儀徳町、亡妻ツルヨ)▽東田基好(桜町、亡母キクエ)▽原岡伊都子(田代昌町、亡義母フミヨ)▽内田文字(古野町、亡夫友治)▽中村武雄(同、亡母ナカ)▽佐藤トシノ(神辺町、亡夫喜徳)▽時力夫(飯田町、亡妻時子)

一般寄付

市社会福祉協議会へ

議会へ▽八千五百八十二円(地区文化祭での益金)▽鳥栖地区文化祭実行委員会▽五千円▽碓康子(原古賀町)▽十万円▽原岡伊都子(田代昌町)社会教育研修場へ▽三つ折りマットレス三十枚(三千万円)▽鳥栖養基ライオンズクラブ(会長・田中邦生)
指定寄付 市社会福祉協議会へ▽一万円(真心の園へ指定)▽原岡伊都子(田代昌町)▽六万円(社会福祉法人若楠へ指定)▽大倉豊光(宿町)▽二万円(社会福祉法人あさひ会朝日山学園へ指定)▽大倉豊光(宿町)

第37回市長杯争奪 老人囲碁大会結果

二月十五日に行われた第三十七回鳥栖市長杯争奪老人囲碁大会の結果は、次のとおりです(敬称略)。
【Aパート】優勝▽酒井正夫(大正町)▽準優勝▽中尾正行(宿町)
【Bパート】優勝▽高尾末次(田代大官町)▽準優勝▽平塚常雄(田代外町)
【Cパート】優勝▽横尾勝弘(加藤田町)▽準優勝▽長定喜(柚比町)

カツ Guts サガン鳥栖

『頑張れ サガン鳥栖』

一月十三日・十四日の両日、基里地区公民館で開かれた基里地区文化祭に、サガン鳥栖の選手たちがプレーする姿を模したミニチュアが展示され、入場者の人気を集めました。

牟田作造さん（77歳、幡崎町）が作った作品は、その名もズバリ「頑張れサガン鳥栖」。「サッカーをヒントに選手の模型を二つ二つ作ったところ、それを見た人が、どうせ作るなら選手全員分を作ったらどうか、というので作ったんですよ」

ミニチュアは発泡スチロールの土台に、選手二十二人と主審一人、線審二人。このほか白い毛糸を使ったゴールネットや緑の芝生が、生き生きと描かれています。

「最も苦労したのは、選手一人ひとりの動作です」。片方のゴールキーパーは両足を踏ん張り両手を掲げ、他方のキーパーは両手を前に突き出し、敵方のキックに備えています。このほか選手や審判の表情は一つずつ異なり、臨場感を豊かに表現。周囲からはサポーターや観客の元気な声援が、今にも聞こえてきそうです。



サッカー選手を生き生きと表現した自作のミニチュアを手に、ほほえむ牟田さん

「暇々に作ったので、完成には一か月ほどかかりました。根つめて作ればもっと早くできたでしょうが」。選手ら二十五人は、自宅庭にあったナンテンで作られています。相手チームのユニホームは、ニスを塗っただけの黒褐色。他方、サガン鳥栖は青ならぬ朱色に黄色の斑点模様、着色剤は水彩絵具とボンドを練り合わせたものです。

「私の工作は気まぐれ。でも物を作っているときは楽しいし、集中するので、体にはいいですよ」。これまで、マドロスパイプや煙管、印籠、つえ、水車の模型など、数多く作ってきました。毎年開かれる市や基里地区の文化祭には、数年前から出展しています。「パイプなどは作る一方で、人が持つて行くんですよ」と言いながらも、顔はこやか。数年前まではゲートボールの審判を務めるほどでしたが、今はたまにグラウンドゴルフを楽しむ程度です。「せっかくなので地元にもプロのチームができたのですから、サガン鳥栖にはぜひ頑張ってもらいたいですね」

中世山城と筑紫氏

Vol.82 筑紫氏の城と領地 その十一

高取城 高取城は、勝尾城の南東千四百メートルの山上にある山城で、勝尾城主筑紫広門の弟筑紫春門の居城であったと伝えられています。この高取城については、天正十四年（一五八六）鳥津氏が筑紫広門を攻めた時にその名が見えるのみで、ほとんど記録に残っていません。したがって、いつ、だれがつくった城であるのか分かりませんが、城の構造は古い形をとどめており、遅くとも十六世紀前半には築城されていたものと考えられます。その後十六世紀後半には勝尾城の有力な支城として、

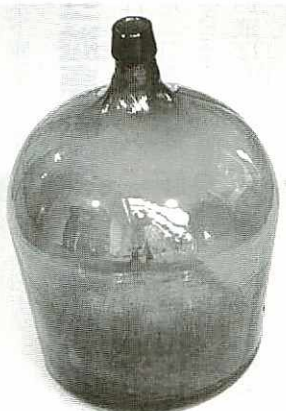
筑紫一門が守衛していたものと推測されます。鳥津氏との合戦については多くの記録が残されていますが、勝尾落城の前哨戦として高取城を巡る攻防があり、筑紫春門と鳥津の武将川上左京介の一騎打ちは今に伝えられています。

この時の模様を『筑紫良泰筑紫家山緒書』では、「…八箇国の人数を催し、基養父勝尾城に攻めかかり候。…勝尾より一里ほど間をおき、高取城に筑紫右衛門大夫晴門・神辺宮内内番仕り候。…右衛門大夫晴門手を砕き戦い申し候へ



筑紫春門と川上左京介が一騎打ちしたと伝えられる刺寄（きりよせ・牛原町）付近

ども、敵大勢にて候より、（高取城へ）乗り込み申し候、大手口に切つて出、手柄の討死に仕り候。…晴門の子新介、…川上左京と刀打ち仕り、左京に二刀切りつけ申し候、左京城下まで引き退き候へども、相果て候」と記されています。



製薬に使う水を貯蔵したダルマ瓶

貯蔵しておくために用いていたものです。特に、大寒のときに汲んでおいた水は、「寒の水」といって腐らないといわれており、製薬のときに重宝されていたようです。

このダルマ瓶を用いる製丸の作業は、製薬工程の中でもとりわけ難しい

く、製丸師と呼ばれる専門の職人がいました。同じこねるといっても、季節によって気温や湿度が違ってくるので（蕎麦やラーメンの麺打ちのようなもの）といえれば分かりやすいでしょうか、それらを経験で見分けられるようになるためには、長い年月が必要とされています。一般的にはおよそ三〜五年の修業が必要とされています。

写真の瓶はダルマ瓶と呼び、もともとはアルコールなどの薬品を保管しておくための瓶でしたが、昔の売薬人が丸薬を作る過程で、薬剤をこねるときに使用する水を

消えゆく民具

VOL.110 ● ダルマ瓶

【売薬用具編】

社会福祉に関する相談ごとは

あなたの町の民生委員・児童委員へ

鳥栖市民生委員・児童委員

として、次の百十四人の方が厚生大臣と県知事から委嘱を受け、高齢者や身体障害者、児童、母子の福祉向上など、社会福祉の増進のため活動します。詳しくは福祉事務所社会係（☎3552）へ。（敬称略。◎は主任児童委員。カッコ内の町区は担当地区。）

- 【鳥栖】◎緒方忠【轟木町】吉山シヅ子、小野トミエ【元町】毛利仁之、馬渡美喜子、梁井和子【秋葉町】松隈美智子、橋本健男【藤木町】堀田禪昌、龍頭美紀子【つばさ鳥栖】三浦倉造【今泉町】佐々木照江、田原正利【真木町】徳測正登、齊藤八十三【高田町】有馬昇【東町】宮原演忠、川上スナエ【本通町】中村月子【安楽寺町】杉野利治【京町】川崎浪江【事業団宿舎】日田洋一【南部団地】大浦利一郎【鳥栖北】◎古賀ヨウコ【本町】立石稔、松雪一江【本鳥栖町】福山博芳、大塚起子、永家田鶴子【大正町】東明子【古野町】穴見三人【鎗田町】副島トモエ、中満光子【土井町】内田幸子【神辺合町】平山昭男【布津原町】藤村光治、倉地節子【宿町】

原明徳、仁田ヒロ子、山津初代【田代】◎藤田博◎中野佐知子【田代昌町】鈴木重彦

- 【田代新町】古賀和子【田代上町】久光慶子【田代外町・同住宅】平田茂博、松雪ナツ子【田代大官町】藤戸由子【田代本町】國松貞子、吉松順子【永吉町】中川太郎【今町】青木登【袖比町】田中昭【神辺町】権藤勝市、成富邦之【萱方町】城戸幸利、小石恵美子【浅井町】梶山弘美【古賀町】山本禮次郎【虹が丘町】山口敬【古賀団地】角静雄【柳団地】高尾忠治【加藤田町】久米恒子、梁井昌子【河内町】石橋哲朗【基里】◎毛利トシ子【酒井西町】原山英治【酒井東町】伊藤五天【曾根崎町】松雪喜繼、中島晴美、原恵美子【水屋町】大石堅二【飯田町】古賀芳子【原町】酒井雅子、江島良人【姫方町】藤川和子【幡崎町】林幸博【桜町】花田五中、小石壽子【松原町】國井鈴子【麓】◎牛嶋貞夫【蔵上町】三橋輝生【養父町】門司雅之、竹野照夫【牛原町】山口国夫【山浦町】下田竹次、今村恵美子【桜ヶ丘町】石井竹夫【山都町】寺崎護【原古賀

- 町・同住宅】江見光、埜口スギノ【平田町】高田誠彦、西山思水子【立石町】渡辺信義【二本杉住宅】梁井幸枝【旭】◎野中京子【江島町】齊藤祝男【村田町】夜久憲夫、西村孝子、原加代子【村田新町】野村克也【西新町】木下雅子

爆笑90分 三遊亭歌之介落語独演会

サンメッセ鳥栖では前回、大変好評をいただいた「三遊亭歌之介独演会」を開きます。今回も心の底から笑い飛ばしてください。

きつと心が晴れ万寿(ます)よ。みなさんのお出でをお待ちしています。

（☎2121）

保健センターで健康大学を開講

保健センターでは、健康について年間を通して楽しく勉強する「健康大学」を開きます。

医師や栄養士などを講師に迎え、病気をはじめ食事や運動、心の面などいろいろな角度から「健康」について考えます。

参加資格は年間を通して参加できる方であれば、年齢を問わず、どなたでも参加できます。定員は六十人。申し込みは

とき	講座内容
4/23(金)	開講式、ヘルスチェック
5/27(木)	アレルギーについて
6/25(金)	こころ
7/22(木)	ウォーキング(効果的な方法と実践)
8/24(火)	環境問題について
9/8(水)	お酒との上手なつき合い方
10/15(金)	東洋医学(漢方について)
11/9(火)	ぢの話
12/9(木)	開講式、座談会

市報とす

毎月1日・15日発行
（市報とす隔生紙を使用しています）

編集発行 ● 鳥栖市総務部企画課広報統計係



人口	平成11年3月1日現在		() 内は前月比
総数	男	女	世帯数
58,624(+14)	28,275(+26)	30,349(-12)	19,713(+31)

4月の納税
固定資産税(1期分) 納期限 ● 4月30日

水道の修繕
鳥栖市管工事協同組合 ☎84-2500
● 水道の修繕はすべて上記へお申し込みください

〒841-8511 佐賀県鳥栖市宿町一 一八番地
TEL ☎35513
FAX ☎1994

市教委ホームページアドレス「http://www.saganet.ne.jp/tosu-edu」